

総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 講習会

◎日時場所：第1回：令和6年6月25日（火）

◎榎原公苑ジョギング&サイクリングステーション
2階 会議室A~D

第2回：令和6年9月12日（木）

◎榎原公苑ジョギング&サイクリングステーション
2階 会議室A・B

第3回：令和6年12月17日（火）

◎川西町立中央体育館

◎目的：県内総合型地域スポーツクラブの質的充実に向けて、講習会を開催する。

◎参加者：県内総合型地域スポーツクラブより のべ87名

（第1回28名、第2回44名、第3回15名）

◎概要：第1回では、奈良県広域消防組合榎原消防署の方をお招きし、救命入門コースについてご講義および実技研修をいただいた。

第2回では、奈良県教育委員会事務局体育健康課の成田剛氏をお招きし、部活動地域移行に関し、問題点、課題、目指す姿等についてご講演いただいた。

第3回では、奈良県ボッチャ協会の方をお招きし、ボッチャのルール説明や競技体験を行った。

毎回、参加者から、「勉強になった」「クラブに持ち帰って運営に活かしたい」といった声が聞かれた。



◎今後の予定：今後も県内総合型地域スポーツクラブの発展、質的充実のため、引き続き連絡協議会事業として、クラブ運営に役立つ講習会や指導者講習会を開催する。

奈良マラソン2024の開催

- ◎日時場所：令和6年12月7日（土）・8日（日）
 ロートフィールド奈良（スタート、フィニッシュ）
 奈良市内、天理市内
- ◎目的：県内最大規模級のスポーツイベントとして、県民の健康増進、オフシーズンの観光振興に資するとともに、県全体の活性化に寄与する。
- ◎参加者：マラソン出走11,331人　世界遺産10K出走3,867人
 ペアリレーマラソン出走170組（340人）
 ミニ奈良マラソン出走750人　ボランティア参加3,382人
 沿道応援21,857人（延べ）

◎概要：

- ① マラソンの男子は菅井 宏人さんが大会新記録で優勝、女子は山口遥さんが6連覇
- ② 第15回記念大会として、様々な取り組みを実施
 - ・ペアリレーマラソンを新設
 - ・世界遺産10Kは春日大社から東大寺に至る間に水谷橋手前を巡るルートが追加
 - ・奈良ならではのデザインを施した完走メダルが復活
 - ・奈良国立博物館コラボの参加賞Tシャツシリーズがスタート
 - ・会場北側で大抽選会を実施
- ③ EXPO会場では物販・飲食・スポンサーなど78ブースが出展
- ④ 病院救急搬送5件5名（重篤者はなし）

スタート号砲



沿道



沿道



エキスポ会場



- ◎今後の予定：第16回大会として奈良マラソン2025大会を12月13日・14日に開催する予定。

奈良マラソンに向けた関連イベントの実施

◎日時場所：

ランニングクリニック

令和6年6月16日、7月28日、8月18日、9月15日、10月20日、11月24日

@ 県立橿原公苑



ランニングクリニック

目からウロコの靴・靴ひもセミナー

令和6年5月6日 @ ロートフィールド奈良

ロゲイニング

令和6年6月2日 @ 平城宮跡歴史公園（奈良市内）



スロージョギング&ヨガ

スロージョギング&ヨガ

令和6年9月28日 @ 平城宮跡歴史公園

PICK UP & RUN

令和6年12月1日 @ 奈良市内



PICK UP & RUN でのゴミ拾いの様子

マラニック（仮称）

令和7年3月中旬開催予定

◎目的：奈良マラソンの完走を目指すランナーに段階を追って走り方をレクチャーすることでマラソンランナーの増加を目指す。又、様々な形でのランニングの場を提供することでランナーの裾野の拡大を目指す。

◎概要：

【ランニングクリニック】

奈良マラソンの完走を目指して通年で走り方をレクチャーする「ランニングクリニック」を県立橿原公苑で6月から実施。計6回延べ約450人が参加。

【RUNプロジェクト】

さまざまなカタチでランニングに親しみ、楽しむ「RUNプロジェクト」として、5月に「目からウロコの靴・靴ひもセミナー」、6月に「ロゲイニング」、9月に「スロージョギング&ヨガ」、12月に「PICK UP & RUN」を開催。「PICK UP & RUN」は今年度初開催のコースのゴミ集めイベントで、約40人が参加。

◎今後の予定

令和7年3月にマラニック（仮称）を実施予定。引き続き、マラソンランナーの増大とランナーの裾野拡大を目指し、ランニングクリニック、RUNプロジェクトを実施していく。

プロスポーツとの連携事業 少年少女野球教室

- ◎日時場所：①令和6年4月13日（土） オリックスVS中日 2軍公式戦
 @佐藤薬品スタジアム
 ②令和6年9月21日（土） オリックスVS中日 2軍公式戦
 @さとやくスタジアム

◎目的：未来を担う子どもたちなど、多くの県民がスポーツへの夢やあこがれを持ち、スポーツへの関心が高まることでスポーツを始めるきっかけづくりとなるよう、プロスポーツで活躍するトップアスリートと連携し、スポーツ教室の開催や公式戦の観戦機会を創出する。

- ◎参加者：①野球観戦のみ：39組 野球教室：51組
 計：90組 ※観客者総数：2,268名
 ②野球観戦のみ：72組 野球教室：99組 チアダンス教室：15組
 計：186組 ※観客者総数：2,114名

◎概要：目的の実現に加えて、②においては、県内の産学官（産：球団／県内企業、学：県内大学・学生、官：奈良県）が連携して盛り上げる『産官学連携プロジェクト』としても展開している。

【産学官連携プロジェクト】

- ・奈良学園大学(9名)：練習手伝い、ボールボーイ
- ・畝傍中学校吹奏楽部(35名)：吹奏楽演奏
- ・天理大学体育学部稲葉ゼミ：来場者調査
- ・奈良教育大学合唱団コールグレイス(4名)：国歌斉唱
- ・近畿大学農学部(4名)：メロンジェラート及びメロンサイダーの販売
 （製造元の大和アグロファーム、信貴山のどか村も販売に協力）

【野球教室・チアダンス教室】

- ・野球教室はグループに分かれて準備運動・キャッチボール・ノック・バッティング練習等を実施。
- ・チアダンス教室はバッファローズ応援歌「SKY」に合わせて練習を実施。

【産官学連携プロジェクト・野球教室・チアダンス教室】



◎今後の予定：次年度もオリックス野球クラブ株式会社と連携し、引き続き、同様の取組を実施する予定。

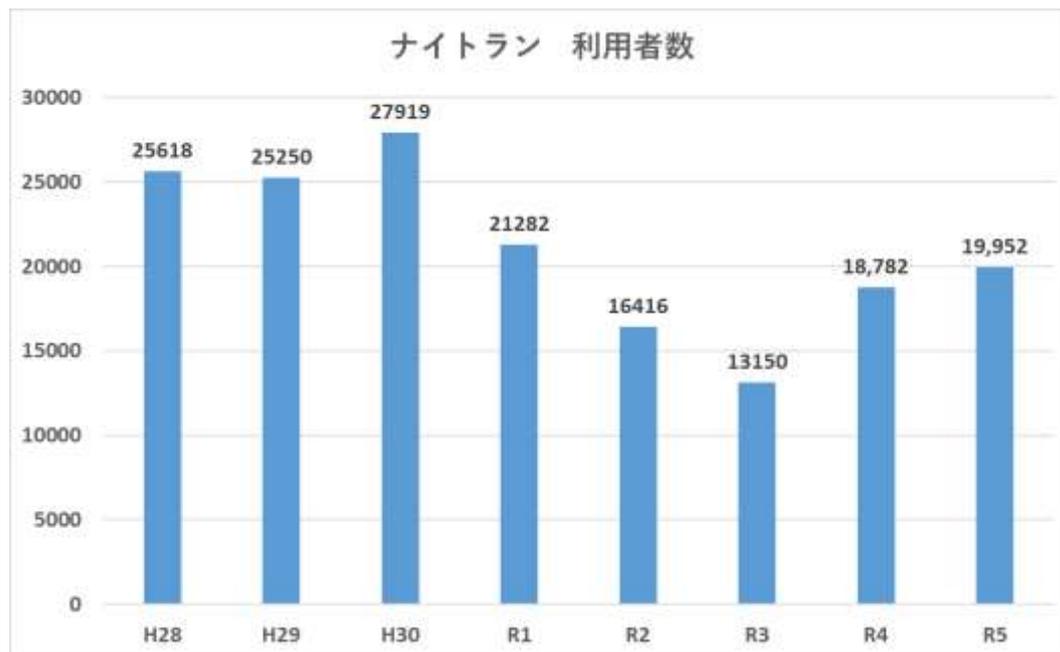
陸上競技場夜間無料開放（ナイトラン）事業

◎日時場所：毎週月・水・木・金曜日 17時～21時
 県立檀原公苑陸上競技場

◎目的：一般ランナーからアスリートを目指す人まで、また、子どもから高齢の方までが陸上競技場に集い、安全に楽しく利用できるように、互いに調整し譲り合いながら「運動・スポーツを楽しむ場」となることを目的とする。

◎概要：毎週月・水・木・金曜日 17時～21時の時間帯において、陸上競技場を無料開放し、ランニングやウォーキング等に利用できるようにしている。

◎利用者数：下記のとおり



◎今後の予定：幅広い世代、立場の人々が利用し、現在では県民に定着している。令和5年11月には、試行として従来の曜日（月水金）に加え木曜日にも実施。利用者の“もっと走りたい”という声を受け、令和6年4月から、従来からの毎週月・水・金曜日に加えて新たに木曜日を追加した。来年度も同様の曜日で実施予定。

身近な運動普及啓発事業 千葉すずさん（元オリンピック選手）の運動教室

◎日時場所：

- | | | | |
|----------------------|------|-------|---------|
| ①令和 6 年 7 月 12 日（金） | 天川村 | （水泳教室 | 41 名参加） |
| ②令和 6 年 10 月 10 日（木） | 十津川村 | （運動教室 | 49 名参加） |
| ③令和 6 年 10 月 21 日（月） | 黒滝村 | （運動教室 | 21 名参加） |
| ④令和 6 年 11 月 1 日（火） | 下北山村 | （運動教室 | 21 名参加） |
| ⑤令和 6 年 11 月 13 日（水） | 御杖村 | （運動教室 | 10 名参加） |
| ⑥令和 6 年 11 月 19 日（火） | 上北山村 | （運動教室 | 22 名参加） |

合計 164 名参加

◎目的：健康寿命日本一の奈良県の実現を目指すべく、地理的条件などで運動やスポーツに接する機会の少ない人に対し、身近に実践できる運動・スポーツの楽しさを啓発し、運動習慣の定着を図る。

◎概要：元オリンピック競泳日本代表の千葉すず氏を招いて運動教室（全世代向けの体操教室及び小学生向けの水泳教室）を実施。

◎主催：奈良県、各村教育委員会

◎当日の様子

- ・運動教室については、子どもからお年寄りまで幅広い年代が参加。最初に体をほぐすためのストレッチを行い、その後ピラティスと呼ばれるエクササイズを実施。千葉氏の指導を受け、呼吸を意識しながら簡単な筋力トレーニングを实践。
- ・終了後は、千葉氏を囲んで座談会。和やかに交流を楽しんでいた。
- ・水泳教室は、天候不良や気温の低下により、体育館にて講演及びプールにて千葉氏の泳ぎを見学した。千葉氏より自身の生い立ちなどをお話いただいたり、クロールを泳ぐコツをお話していただき、実際にプールで泳ぐ姿を子どもたちに見せていただいた。子どもたちも熱心に話を聞き、質問にも答えてくださった。



◎その後の村での取り組み

今後も、本事業をきっかけに身近な運動普及啓発のための取組を各村で継続していただくことを条件として事業を展開していく予定。

運動のきっかけ創出事業 「家族でチャレンジ！体力チェック」について

◎日 時：

- ①令和6年6月29日（土）@イオンモール橿原（276名参加）
- ②令和6年9月15日（日）@イオンモール高の原（400名参加）

合計 676名参加

◎目 的：健康長寿日本一の奈良県の実現を目指すべく、運動習慣のない方や運動に興味のない方に対し、身体を動かすことの楽しさを啓発し、運動を始めるきっかけ作りを行う。

◎概 要：(株)アシックスと連携して、イオンモールにおいて体力測定イベントを行った。握力測定、5回椅子立ち上がり、閉眼片足立ち、棒落としの4種類の体力測定を実施。

◎当日の様子

- ・4種類の体力測定を行い、18歳以上の方は測定結果の年代別参考値との比較を行っていただいた。
- ・「運動不足を感じた」「普段からもっと運動しようと思った」「同年代より低い測定結果でショックだった」「家族で参加できて楽しかった」等の感想が聞かれた。



◎参加者アンケートより

- ・参加者の約9割弱が満足、約7割が運動することへの意識が高まったと回答。
- ・「是非また参加したい」「大変よい企画だと思った」「楽しく健康について考える機会になりました」等の感想が聞かれた。

未来のトップアスリート発掘イベント スポーツ能力測定会及び競技体験

◎日時場所：【親子対象】令和6年7月31日（水）

【子ども対象】令和6年8月1日（木）

@ジェイテクトアリーナ奈良（両日）

◎目的：2031年に奈良県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会や、将来国際大会で活躍が期待できる、優れた素質を有するジュニアアスリートの発掘を行うこと。

◎概要：最新の測定機器を用いて6つの測定種目から運動能力を測定。終了後は保護者と一緒に測定結果の説明を受け、自分の長所や短所、向いているスポーツなどについてアドバイスを受けた。

なお、31日は夏休み期間という点も利用して保護者の運動機会創出も狙うため、親子を対象に参加資格の年齢層（年長～中学3年生）を拡げて実施。1日は本来趣旨である未来のアスリートの発掘機会の拡大を狙い、昨年度と同様、子どものみ（年長～5年生）を対象として実施。

また、競技団体の協力の下、31日にウエイトリフティング、なぎなた及びボッチャ、1日にバドミントン及び自転車を実施。

◎参加者：スポーツ能力測定会 計509名

（内訳：7月31日親子257名、8月1日子のみ252名）

競技体験会 のべ766名

（競技体験会内訳：ウエイトリフティング159名、なぎなた86名、ボッチャ96名、バドミントン247名、自転車178名）

【スポーツ能力測定会】



【競技体験会】

▽ウエイトリフティング

▽なぎなた

▽ボッチャ

▽バドミントン

▽自転車



◎参加者アンケートより

スポーツ能力測定会については、参加者の94.5%が内容について満足と回答。

- ・今後も是非参加したい。
- ・モーションセンサーを使う普段出来ない測定方法で、非常に興味深く楽しかった。

競技体験会について、参加者の73.8%が体験した競技を今後やってみたいと思ったと回答。

- ・普段体験できない競技に触れることができ親子共々楽しく学べた。
- ・もっといろいろな競技を体験したい。

◎今後の予定

- ・今回の測定結果から優れた運動能力を持つ子ども60名程度を選抜。
（30名程度をアスリートコース、30名程度をネクストコースに選抜予定）
- ・11月と2月にプレ育成プログラムを行い、令和7年4月より育成プログラムを実施。
- ・スポーツ能力測定会は令和6年度も引き続き開催予定。

○ なお、抽選に外れてスポーツ能力測定会に参加できなかった子どもたち、選抜外となった子どもたちに対しても、スポーツ関係イベント等の案内、各競技団体が取り組む競技体験会の案内など、引き続きスポーツに親しむ働きかけを行い、各競技のすそ野の拡大にも取り組む。

未来のトップアスリート発掘育成事業 (競技体験会)

- ◎日時：①令和6年10月26日(土)レスリング
②令和6年11月30日(土)ソフトテニス
- ◎場所：①奈良県立大和広陵高等学校第一体育館(北葛城郡広陵町)
②明日香庭球場(高市郡明日香村)
- ◎内容：スポーツ能力測定会の結果から選抜された、優れた運動能力を持つ子どもたちに対して、競技団体と協働で、様々な競技に興味と関心を持たせるべく競技体験会を実施。
- ◎参加者：①24名
②36名
- ◎指導協力：①奈良県レスリング協会(奈良県高体連専門部員)5名
天理大学5名・帝塚山大学5名
添上高校6名・大和広陵高校6名
②紙森隆弘先生(高田商業高校教員・U-20全日本男子監督)
高田商業高校6名(全国高校総体・佐賀国スポ優勝メンバー)
- ◎当日の様子
・競技団体の協力のもと、国スポ優勝選手やコーチからの指導や、メダリストからのビデオメッセージの準備等、子どもも保護者も体験した甲斐のある満足感の高いプログラムが展開できた。

【レスリング】



【ソフトテニス】



- ◎今後の予定
12/26(木)バドミントン(大和郡山市総合公園多目的体育館 金魚スクエア)
2/8(土)水球(奈良県立添上高等学校プール)
2/22(土)アーティスティックスイミング(まほろば健康パーク スイムピア奈良)

未来のトップアスリート発掘イベント 育成プログラム実施

【趣旨】

◎スポーツ能力測定会の結果から選抜された、優れた運動能力を持つ子どもたち（令和5年度での選抜は67名）をアスリートコースとネクストコースに分け、月1回程度の育成トレーニングと年3～4回程度の競技体験会を実施。

【対象者・実施回数】

コース名	アスリートコース		ネクストコース	
対象	小学5年生・6年生 (35名)		小学1年生～4年生 (32名)	
期間	卒業するまで		1年間	
講習	回数	11回/年		
	時間	1時間	45分	
	特別	講演・座学3回		

【日程・場所】

	日程				会場
1	令和6年	5月	25日	(土)	金魚スクエア
2	令和6年	6月	15日	(土)	金魚スクエア
3	令和6年	7月	13日	(土)	金魚スクエア
4	令和6年	8月	24日	(土)	金魚スクエア
5	令和6年	9月	14日	(土)	橿原公苑ジェイテクトアリーナ奈良
6	令和6年	10月	12日	(土)	金魚スクエア
7	令和6年	11月	16日	(土)	金魚スクエア
8	令和6年	12月	14日	(土)	金魚スクエア
9	令和7年	1月	18日	(土)	橿原公苑第二体育館
10	令和7年	2月	15日	(土)	金魚スクエア
11	令和7年	3月	15日	(土)	金魚スクエア

※11月16日は、天理大学と協働し、育成プログラムと合わせて、保護者向けに食育に関する講習会も実施



【R7向けプログラム対象者の選抜、プレ育成プログラムの実施】

スポーツ能力測定会の測定結果に基づき、令和7年度向けに61名を選抜。選抜者に対して、天理大学体育学部と協働で令和7年11月と2月に、基礎的運動能力の向上を目指す「プレ育成プログラム」を実施。

<R7向け人数内訳>

- ・アスリートコース(小学4年生)：31名
- ・ネクストコース(小学2年・小学3年)：30名(各15名)

※ なお、アスリートコースの現小学5年生28名は持ち上がり。

国民スポーツ大会 (SAGA2024) の結果について

○奈良県の成績

天皇杯 826点 (36位) 皇后杯 413点 (46位)

・直近5大会は19位、25位、27位、25位、31位と概ね30位以内を推移。

【優勝した競技種目】

水泳 (競泳) 成年男子100m平泳
(大蔵礼生選手/近畿大学)

馬術 成年男子大障害飛越
(森裕悟選手/乗馬クラブクレインオリンピックパーク)

成年女子馬場馬術
(中村公子選手/ドレッサージュチーム・シュタルジーク)

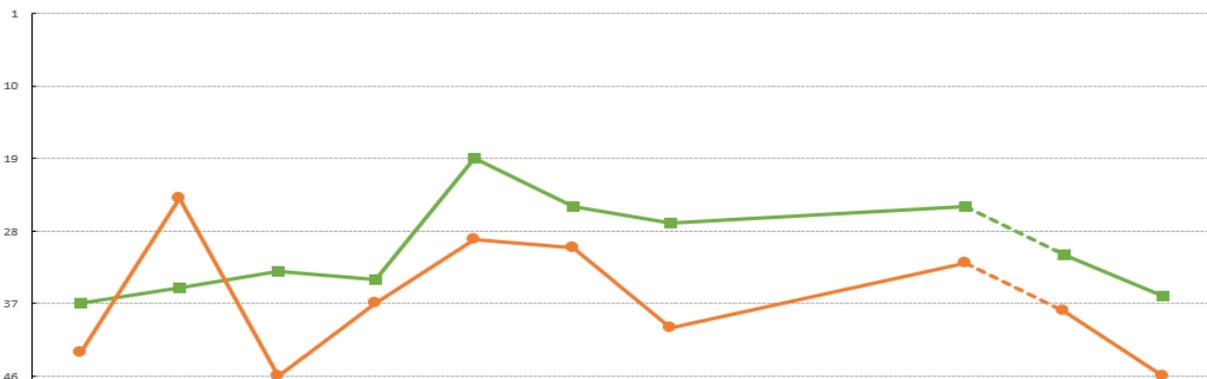
カヌー 成年男子カヌースプリントカヤックシングル500m、200m
(棚田大志選手/吉本整形外科・外科病院)

ラグビーフットボール 少年男子
(奈良県立御所実業高等学校)

ソフトテニス 成年男子
少年男子

奈良県選手団 国民スポーツ大会総合順位の推移 (過去10大会)

■ 天皇杯 (男女総合) ● 皇后杯 (女子総合)



天皇杯 (男女総合)

37	35	33	34	19	25	27	延期	中止	25	31	36
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

皇后杯 (女子総合)

43	24	46	37	29	30	40	延期	中止	32	38	46
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

○次年度の取り組み (予定)

奈良県スポーツイノベーション推進本部において、産学官連携を中心に、国民スポーツ大会の奈良県開催を契機とし、その先を見据えた持続性のある競技力の底上げを進める。

<主な取り組み予定>

- ・ジュニアアスリートの発掘育成
- ・県内企業とアスリートの就業マッチング
- ・優秀な指導者の招請、合宿・遠征の充実化 (競技団体向け支援) 等

アスリート県内定着プログラム (ならアスリートキャリアセンター運営)

【概要】

- ◎2031年に奈良県で開催される国民スポーツ大会をはじめ、全国及び国際大会等において活躍が期待できるアスリート及び指導者が県内で競技を継続できる環境を整えるため、アスリート版ハローワークである「ならアスリートキャリアセンター」を2024年7月に設置。
- ◎同センターにおいて、アスリート等と県内企業のマッチングを実現させ、雇用関係の成立を斡旋する。

【実施内容】

<対象者>

- ◎国民スポーツ大会の正式競技に取り組んでいる、競技団体が推薦するアスリート等

<対象企業>

- ◎県内に本社又は事業所を有し、全国及び国際大会で活躍するアスリート等を採用する意思があり、競技活動への理解と協力ができる企業

<事業展開方法>

- ◎マッチングアドバイザー（大垣知哉氏）を配置し、アスリートや指導者の採用に前向きな企業を開拓
- ◎アスリートや指導者、企業、競技団体に対して売り込みを行い、マッチング実績を構築



<今年度の取組>

- ◎センター開設後、昨年度に実施したセミナー参加企業等を中心に企業訪問を実施（現在、10企業（R6.12.31時点）が求人企業として掲載）
- ◎県内各競技団体(国スポ競技32団体)に対して、アスリート情報の提供を依頼し、適宜、対象者と企業のマッチングを実施